

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月16日(月)

事務事業		人間ドック等助成事業		担当課	保険年金課	担当係	国保給付係	管理番号	17131
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市国民健康保険人間ドック等検査料助成要綱				
	小項目	1	健康づくりの推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		国民健康保険の被保険者の健康保持のため、国民健康保険の被保険者が人間ドック又は脳ドックを受検するとき、その検査料の一部を1会計年度において1回に限り3万円を限度として助成する。							
目的 ※何のために		国民健康保険の被保険者の健康保持のため。							
対象 ※誰・何を対象に		次の全てに該当する者①深谷市国民健康保険の被保険者で資格を取得して1年以上経過している者②満30歳(受検申請当日)以上の者③深谷市国民健康保険税を完納している者							
手段 ※どのように		国民健康保険の被保険者が人間ドック又は脳ドックを受検するとき、その検査料の一部を1会計年度において1回に限り3万円を限度として助成する。							
成果 ※何を求めるか		国民健康保険の被保険者の疾病の予防並びに疾病の早期発見及び早期治療による重症化の予防							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業	区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
	特別会計	6	保健事業費	2	保健事業費	1	保健衛生普及費	人間ドック等助成事業	39,495,040
本事業の 主な業務	・人間ドック及び脳ドックの検査料の一部助成				・				
	・				・				
	・				・				
	・				・				
	・				・				
	・				・				

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成	人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成	人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成	人間ドック又は脳ドックの検査料の一部助成		
事業費	予算(現額)	51,150,000	51,000,000	51,000,000	51,000,000		
	決算額	40,219,300	38,943,650	39,495,040	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	14,970,000	19,513,000	25,500,000		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	25,249,300	19,430,650	19,897,040	25,500,000	
人件費	従事職員数(人)	1.43	1.43	1.30	1.05		
	人件費相当試算※	11,214,119	11,414,486	10,688,914	8,954,211		
総事業費試算		51,433,419	50,358,136	50,183,954	59,954,211		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
		目標値の算定根拠/実績値の出所							
活動指標 1	人間ドック及び脳ドック受検者数	目標値	人	1,300.00	1,300.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00
		実績値		1,405.00	1,327.00	1,347.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		予算額の積算根拠となる受検者数 / 当該年度実績						
	実績値の算出式								
成果指標 1	人間ドック及び脳ドックの受検率	目標値	%	5.00	5.00	5.30	5.30	5.30	5.30
		実績値		5.33	5.09	5.43			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		予算額の積算根拠となる受検者数/助成対象年齢被保険者数 / 受検者数/助成対象者数※R4は助成額の拡充に伴い増を見込む。						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	市広報へのチラシ折り込みや、特定健診受診券通知への同梱による対象者への周知などを実施し、目標値をおおむね達成することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	医療費削減等に寄与する事業であるものの、被保険者の利用状況や、近隣自治体等の助成状況を考慮し、効果検証を行いながら、実施していく必要がある。
			評価者 国保給付係長 富田 佳祐

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	オンライン申請の導入により、効率的に実施することができた。
			評価者 国保給付係長 富田 佳祐